令 和 ２ 年 度

事　　業　　報　　告

（自 ： 令 和 ２ 年 ４ 月 １ 日
至 ： 令 和 ３ 年 ３ 月 ３ １ 日）

公益財団法人つくば文化振興財団

目　　次

令和２年度事業状況報告書

１．会務
（１）評議員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（２）理事会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（３）組織及び人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

２．令和２年度事業概要
（１）文化芸術振興事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
１）公演等事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２）美術事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
３）文化芸術活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
４）後援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12
５）広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13
（２）指定管理事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
１）指定管理の受託　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14
２）ノバホールの指定管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15
３）つくばカピオの指定管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　20
（３）地域連携　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　26

１．会務

（１）評議員会

ア　文書による決議（R2.6.18）

①　令和元年度事業報告について承認

②　令和元年度収支決算報告について承認

イ　文書による決議（R2.10.2）

①　布浦万代氏の監事選任について承認

ウ　文書による決議（R3.1.29）

①　小久保貴史氏の理事選任について承認

エ　文書による決議（R3.3.25）

①　和泉なおこ氏の評議員選任について承認

（２）理事会

ア　文書による決議（R2.5.25）

①　令和元年度事業報告について承認

②　令和元年度収支決算報告について承認

③　定時評議員会の招集について承認

イ　第27回理事会（R2.10.29）

①　令和2年度事業計画の変更について承認

②　令和2年度補正予算について承認

③　事務局組織規程の一部改正について承認

④　就業規則の一部改正について承認

⑤　職員の給与及び旅費に関する規程の一部改正について承認

ウ　文書による決議（R3.2.26）

①　令和3年度事業計画について承認

②　令和3年度収支予算について承認

③　令和3年度資産運用計画について承認

④　運転資金の借り入れについて

エ　文書による決議（R3.3.26）

①　令和2年度補正予算【第2号】について承認

（３）組織及び人員

公益財団法人つくば文化振興財団の組織体制は、総務課、企画課、管理課の 3 課制をとっており、令和 2 年度末における役員及び職員等の数は次のとおりとなっている。

（単位：人）

役　　員		職　　員	
理事長（非常勤）	1	事務局次長	1
常務理事	1	総務課	1
理事（非常勤）	8	企画課	4
監事（非常勤）	2	管理課	6
		管理課（嘱託）	4
計	12	計	16

２．令和２年度事業概要

（１）文化芸術振興事業

１）公演等事業

本年度の公演については、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、緊急事態宣言に伴う施設の臨時休館やつくば市主催イベント等の開催制限、さらには海外からの招へいアーティストの来日中止などが続いたことから、6 月の段階で年度前半、9 月までの事業をすべて中止、延期とした。

また、10 月には「つくば国際音楽祭」「つくばで第九」等の開催を断念するとともに、つくば市と協議の上、一部対面での公演からインターネットを活用した動画配信を含む「新規事業」等に計画を変更した。

1 月以降、感染防止対策を徹底して対面公演に備えたが、再度緊急事態宣言が発出されたことから、動画収録・配信や開催日程の変更、入場制限等をすることで、1～3 月に 7 事業を実施した（うちホール公演は緊急事態宣言解除後の 3 月に 4 事業実施）。

※別紙 1「つくば市芸術文化振興事業」参照

ア　つくば国際音楽祭事業

5 公演を予定していたが、海外からのアーティストの招へいが不可能となり、4 公演を中止して「つくば国際音楽祭」事業を取りやめる。残り 1 公演の「ショパン vs リスト ピアノの巨人たちの肖像」については、「イ つくば市芸術文化事業（鑑賞型）」に加えて実施。

イ　つくば市芸術文化事業（鑑賞型）

当初 14 公演を予定していたが、最終的にはノバホール、つくばカピオホールで音楽各 1 公演、市民ホールつくばねで伝統芸能 1 公演の計 3 公演のみの実施となった。これ以外の公演は中止または延期とするほか、「新規事業（エ）」に 2 公演振り替えた。

対面公演にあたっては、感染防止対策のため、ホール定員を大幅に減らして客席間の距離を十分に確保し、手の消毒、検温、マスク着用の要請など、コロナ対策を徹底し開催した。

【公演内容】

※入場率＝入場者数／有効座席数（有効座席数は各公演会場設営により変動）

１．つくばね寄席

3 月 13 日（土）市民ホールつくばね

三遊亭円楽をトリに、若手実力派・柳亭左龍、太神楽・翁家勝丸を迎えて、寄席形式で開催。周辺施設の利用促進、新たな観客開拓を目的に、初めて市民ホールつくばねで行う。

コロナ禍、荒天にもかかわらず多くの来場があり、伝統芸能の妙味を味わった。

全席自由　一般 3,000 円　友の会 2,800 円
入場者（160 人）　入場率（73%）

２．ショパン vs リスト ピアノの巨人たちの肖像

3 月 17 日（水）ノバホール

人気ピアニスト、金子三勇士によるリサイタルで、つくば国際音楽祭ワクから振り替えて実施する。

テーマを「ショパン VS リスト/ピアノの巨人たちの肖像」として、ライバル関係にあった両者を対比させながら、ナビゲーター・浦久俊彦とのトーク・解説を交え、「ポロネーズ」「ラ・カンパネラ」など、華麗な演奏を披露した。

全席自由　一般 4,000 円　友の会 3,800 円
入場者（207 人）　入場率（57%）

３．鵜木絵里（ソプラノ）・中川賢一（ピアノ）
デュオ・コンサート

3 月 25 日（木）つくばカピオホール

当初 2 月予定だったコンサートを 3 月末に延期して開催した。「受け継がれる～生み出される音楽」をテーマに、新旧の名曲を紹介、さらには、事前に行った小学生対象ワークショップの成果曲をアレンジし、子どもたちの映像と共に演奏する。

子どもたちにとって音楽が、より身近に感じられる演奏会となった。

全席自由 一般 1,000 円
入場者（61 人）　入場率（51%）

ウ　つくば市芸術文化事業（参加・体験型）

新型コロナ感染拡大により、「第 15 回つくばで第九」「音楽アウトリーチ」「美術ワークショップ」を中止とした。また、「小倉良の All that Music！」は、全 6 回のうち最後の第 6 回のみ対面で実施した。

【事業内容】

※入場率＝入場者数／有効座席数（有効座席数は新型コロナ対策のため定員数を減）

１．小倉良の All that Music！
第 6 回ゲスト：はなわちえ（津軽三味線）

3 月 3 日（水）つくばカピオホール

4 年目となる作曲家・小倉良の企画・進行による音楽講座。前期 3 回を中止とし、秋以降、後期 3 回を対面公演として準備するが、結果的に第 4、5 回を動画収録・ネット配信（「エ新規事業」p7 参照）とし、第 6 回のみ定員を大幅に減らして開催した。

ゲストは、日立市出身の津軽三味線奏者・はなわちえで、津軽民謡だけでなく、自身のオリジナル曲や中島みゆき「糸」など、民謡を超えたレパートリーに、新たな可能性を垣間見た。

全席自由 一般 3,000 円
入場者（53 人）　入場率（44%）

エ　新規事業～コロナ対策に伴う新たな芸術文化事業

コロナ禍で公演や参加・体験型事業を中止する中、実施可能な事業として、インターネットを介しての情報、動画配信をはじめ、つくば市の新たな取り組みと連携した事業など全 9 事業を行った。

このうち 6 事業は、中止とした公演等に関連する新企画で、11 月～3 月に実施した。

１．アット@ほーむコンサート

5 月 15 日～7 月 31 日　財団ホームページ

外出自粛が続く中、自宅での鑑賞を目的として過去に収録したライブ映像等を、財団ホームページで無料公開した。

公開したのは、「ワンコインコンサート」（2017 年度・動画）、「20 年目のメッセージ」（2016 年度・音源）、「第 14 回つくばで第九」（2019 年度・動画）、「はじめての音楽会」（2018 年度・音源）の 4 公演。

視聴者総数（1,041 人）

「ワンコインコンサート」の 1 コマ

２．つくば市オンラインによる文化芸術奨励事業 申請内容・動画審査事業

「つくば市オンラインによる文化芸術奨励事業」は、アーティストの活動動画（演奏会や作品制作・紹介、ワークショップ等）をインターネットで紹介するもので、つくば市がコロナ禍での市内アーティスト支援を目的に行った。

この事業（夏期に公募）において、集まった企画の審査、採用動画の映像チェックを財団が分担して行った。3 部門で計 96 件の応募があり、61 件を採択、2 月までに順次配信をした。

３．過去の事業のアーカイブ発信事業

財団ホームページにおいて、ノバホール、つくばカピオを中心に、ホールの生い立ちやエピソード、「つくば国際音楽祭」をはじめとする公演事業等の歩みを、アーカイブ・コーナー「舞台の記憶～過去から未来へ」として時系列に紹介した。今後においても、広報事業の一環として随時更新して行く。

４．小倉良の All that music!
特別企画　All that Music！ オンライン特別編　vol.1

ゲストの池田綾子

第 4 回を特別企画として動画配信する。ゲストは、MILLEA 、Sinon、 池田綾子の 3 人のヴォーカリストで、各自 2 曲を収録。透明感のあるクリアーな声は三者三様、個性が際立ち、ネットを通して多くの視聴者へ届けられた。

配信期間 12/5～1/31　無料
視聴者数 2,536 人

５．小倉良の All that music!
特別企画　All that Music！ オンライン特別編　vol.2

第 4 回に続き､5 回目も動画配信の特別企画として、ウクレレ奏者の名渡山遼を迎えて実施。ハワイアンのイメージを覆す超絶技巧のパフォーマンスは、この音楽講座ならではの醍醐味と、新鮮な印象を与えた。名渡山の軽快なトークも楽しめるステージ動画となった。

ゲストの名渡山遼(左)と小倉良

配信期間 3/1～/31　無料
視聴者数 1,770 人

６．神津善行企画・解説
朗読喜劇『弥次喜多凸凹江戸道中記』　オンライン公演

スライドを交えての朗読＆和楽公演

7 月の公演を 1 月に延期するも実施かなわず、収録・配信に切り替えて行う。弥次・喜多さんが現代の東京を見物したなら…、と奇想天外のストーリーで朗読劇が進行。神津ファミリー＋大出俊の語りに、琵琶、太鼓、箏の演奏、スライド上映が、お江戸･東京のムードを盛り上げた。

配信期間 3/1～3/31　無料
視聴者数 347 人

７．白石加代子『百物語』～アンコール公演 第３弾～
つくばカピオ・オンライン公演

１月公演を予定していたが､緊急事態宣言下となり、最終的に無観客での収録・有料配信公演を行った。

筒井康隆｢如菩薩団｣など伝説となった演目に、全国から視聴申し込みがあり、朗読の域を超えた白熱の演技を、映像を通して十分に堪能した。

半村良「箪笥」で老婆を演じる

配信期間 3/27～28　1,000 円
視聴者数 72 人

８．奇想天外!?実験音楽ワークショップ
3 月 21 日(日)　市民ホールとよさと

3 密を避けたステージの様子

鵜木絵里（ソプラノ）、中川賢一（ピアノ）による、小学生対象の音楽創作ワークショップ(2 コマ)を行った。

当初、アウトリーチを計画していたが、小学校での実施が困難となり、企画変更。講師と共に音と遊びながら、知らず知らずにオリジナル曲を作曲！後日、「デュオ・コンサート」で二人が披露する。

総参加者数 10 人

９．つくばで第九合唱団 発声練習ＤＶＤ
「おうちでトレーニング」制作・配布

「つくばで第九」の合唱指導及びソリストとしてステージに立つ、小林昌代先生の指導のもと、自宅に居ながらできる発声練習動画「おうちでトレーニング～準備体操と発声練習～」を制作。

完成したＤＶＤは、前年度のつくばで第九合唱団員に無料配布した。

（希望者 60 名）

２）　美術事業

2 事業のうち、感染拡大期にあった 7 月の「夏休みアート・デイキャンプ＆アートたんけん隊」を中止し、感染が比較的落ち着いていた 10 月の「第 8 回つくば美術展」については、十分な感染対策のもと実施した。

【事業内容】

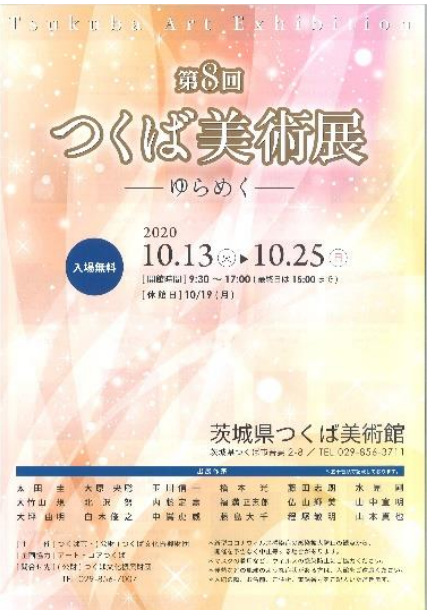
１．第 8 回つくば美術展 ―ゆらめく―

10 月 13 日（火）～10 月 25 日（日）　茨城県つくば美術館

つくばにゆかりのある 18 名の作家による日本画、洋画、版画、彫刻作品の展覧会で、今回で 8 回目の開催となる。

新作を中心に、多くの作品が百号を超える大作で、色彩の美しさや造形の斬新さなど、こころを揺さぶり、“ゆらめく”、刺激ある美術展となった（関連ワークショップについては中止）。

感染対策として、一方通行での入退館や「いばらきアマビエちゃん」への登録など、美術館の協力を得て実施する中、多くの市民に鑑賞いただいた。



来場者数（1,766 人）

３）文化芸術活動支援事業

市内で活動する文化芸術団体・個人が実施するイベントに対して、財政支援や広報協力等をするもので、自発的な市民の文化活動を幅広くサポートする事業として行っている。

本年度においては、公募により 6 団体 6 事業（音楽 3 事業、美術・映像 3 事業）への財政支援を行った。なお、事業の原資には、一般財団法人つくば都市交通センター様、株式会社筑波銀行様からの特定寄付金を充てて実施した。

支援一覧

No.	事 業 名	団体名	日　程	会　場
1	ぷち LIVE2020	ふらっと	８月～ 11 月	にれ工房 （下平塚）
2	インスタレーションアートシリーズ Kachōfūgetsu	鳥クルッテル. inc	９月 20 日	つくばカピオホール
3	筑波ジュニアオーケストラ 第４回定期演奏会	筑波ジュニアオーケストラ	９月 27 日	ノバホール
4	つくば北条アートプロジェクト 2020 pilot 版「矢中の杜展覧会」	つくば北条アートプロジェクト実行委員会	10 月 22 日～ 11 月８日	矢中の杜 （北条）
5	音の宝箱・つくば 2020	音の宝箱・つくば企画運営会議	11 月 1 日	つくばセンター広場
6	つくばショートムービーコンペティション 2021	同左実行委員会ほか	２月 27 日	つくばエキスポセンター

【事業内容】

１．ぷち LIVE2020

ステージ・客席間にアクリル板を設置するなど、感染症対策を徹底しながら、「ピアノ連弾、フラメンコ、ジャズ、マリンバ・ピアノデュオ、エレクトーン」の小規模（ぷち）ライブ、5 ステージを 8～11 月にかけて実施した。

（5 ステージ合計 104 人）

２．インスタレーションアートシリーズ　Kachōfūgetsu

支援事業のジャンルとしては初めての、オブジェと音によるインスタレーション作品展示となる。

ステージに置かれた心臓のオブジェと、会場至る所に響く心臓音を、暗闇の客席（各回 1 名限定）で体感した。劇場が 1 日限りの新たな空間に様変わりする。

（18 人）

ステージ中央に人工心臓が！

３．筑波ジュニアオーケストラ 第４回定期演奏会

音楽を通して次世代育成や、地域文化の醸成を目的とする、筑波ジュニアオーケストラの第 4 回定期演奏会。

小学 3 年生から大学生までの総勢 70 名が、シベリウス「アンダンテ・フェスティーボ」、モーツァルト「交響曲第 35 番〈ハフナー〉」などを演奏した。

コロナ渦のため、本年度は関係者、家族のみの公開公演となった。

（270 人）

４．つくば北条アートプロジェクト 2020 pilot 版

「矢中の杜展覧会」

国登録有形文化財で、昭和初期の近代和風住宅「谷中の杜」（北条）を会場に、15 名の現代美術作家、6 名の筑波大生の作品を展示した。

レトロな建物と現代美術の意外な取り合わせが新鮮であり、発想もユニーク。期間中多くの来場者で好評を博す。

（705 人）

５．音の宝箱・つくば 2020

会場の様子

市民有志でつくる「音の宝箱・つくば企画運営会議」は、毎年秋につくばセンター地区周辺を会場にコンサートを開催している。

今年はつくばセンター広場で、「マリンバ、電子ピアノ連弾、フラメンコ、エレクトーン、ジャズ」の 5 団体のパフォーマンスを披露した。

（延べ 200 人）

６．つくばショートムービーコンペティション 2021

つくばからの文化発信、次代の才能の発掘を目的に、短編映像作品(10 分以内)を公募するコンテスト。審査委員長につくば市出身の映画監督・中村義洋を迎え、今回で 5 回目となる。

応募作品の中から、10 作品をオンラインで最終審査し、タイム京介脚本・監督の「KA.TA.MI.」がグランプリを受賞、あわせて上映会も実施した。

グランプリ作品「KA.TA.MI.」

応募作品数（148 作品）　閲覧数（490 回）

４）後援事業

開催趣旨、内容に賛同するイベント等に対して、当財団が後援するもので、チラシ配布、広報等での協力を行う。今年度は、新型コロナウイルスの影響により後援名義使用許可申請がなく、行わなかった。

５）広報活動

芸術文化振興事業を中心に、各種公演等の情報提供、チケット販売を主目的として、以下の「ア 広報活動」「イ 友の会」の２つの活動を行ってきた。

なお、本年度は、ｐ6「新規事業～コロナ対策に伴う新たな芸術文化事業」の「１．@ホームコンサート」をはじめ、「４．５．６」の動画無料配信についても、観客拡大のための広報活動として捉える。また「３．過去の事業のアーカイブ発信事業」も、ホームページ上での新たな広報活動と位置付ける。

ア　広報活動

財団の各種事業について、広く情報を周知し、参加者やチケット販売の促進、ノバホール、つくばカピオの貸館施設の利用促進を図るため、次のとおり実施した。

種別	内　　容	実施状況
チラシ・ポスター	ノバホール・つくばカピオ、市内小中学校、地域交流センターほか公共施設、県内主要ホール、企業など	約 100 ヵ所/回
ダイレクトメール等	「友の会」（下記 2）参照）会員向けの DM 〃　　電子メール	約 1350 通 ×6 回 約 650 通 ×6 回
広報紙「芸文つくば」 「tcf 通信」	区会配布、ポスティング、市内公共施設など ＊「tcf 通信」は友の会 DM で配布	年 1 回 約 50,000 部
ホームページ	公演情報、貸館情報、施設予約状況など	常時アクセス数 99,906
広告等	市広報誌、各新聞、つくば駅通路掲示板、 ＡＣＣＳ、常陽リビング、フリーペーパーなど	チケット販売状況に応じ適宜掲載等
その他	新規事業として、動画無料配信やアーカイブ情報発信	ｐ6～8 参照

イ　友の会

公演チケットの販売促進を目的に、加入推進を図ってきたが、年度当初に自動退会者（3 年間有効後、自動退会）が多かったことに加え、今年度は公演中止等で新規入会が極端に少なかったことが重なり、会員数を大きく減らした。

同様に、公演時のボランティアとしてお手伝いいただくサポーター会員も、前年度に比較して 1/3 以下に減少した。

今後、制度の改正も含めて抜本的な見直しを図り、あらためて加入促進に努めていく。

会員登録者数 1,785 人（内サポーター会員 45 人）R３年３月末現在

（前年同時期は 2,448 人・内サポーター159 人）

（２）指定管理事業

１）指定管理の受託

令和 2 年度、ノバホール、つくばカピオの指定管理は、第 5 期 3 年目を迎えた。運営に当たっては当財団の公益性という性格から、安全・安心を最優先する中で、低廉で公平な貸し出しや利用者へのサービスの徹底を図り，適切な維持管理に努めてきた。

特に本年度は、昨年春から続く新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設利用の制限や臨時休館など、先の見通せない変則的な運営が続く状況にあり、つくば市との連携を緊密にとりながら、指定管理者として責任ある運営を心掛けてきた。

【指定管理料等の推移】

		ノバホール	つくばカピオ
第 1 回	期間	平成 18 年度～平成 20 年度	平成 18 年度～平成 20 年度
	指定管理料	41,007,000 円／年	119,607,000 円／年
第 2 回	期間	平成 21 年度～平成 23 年度	平成 21 年度～平成 23 年度
	指定管理料	38,957,000 円／年	113,627,000 円／年
第 3 回	期間	平成 24 年度～平成 26 年度	平成 24 年度～平成 26 年度
	指定管理料	49,060,000 円／年　（注 1）	108,620,000 円／年
第 4 回	期間	平成 27 年度～平成 29 年度	平成 27 年度～平成 29 年度
	指定管理料	51,218,000 円／年　（注 2）	107,300,000 円／H27 114,425,000 円／H28,29（注 3）
第 5 回	期間	平成 30 年度～令和 4 年度	平成 30 年度～令和 4 年度
	指定管理料	50,300,000 円／H30 50,900,000 円／R1（注 4） 51,400,000 円／R2（注 4） 58,869,000 円／R3,R4（注 5）	114,500,000 円／H30 115,600,000 円／R1（注 4） 116,700,000 円／R2,R3,R4 （注 4）

（注 1）小ホールの管理開始

（注 2）減免制度に対する措置

（注 3）平成 28 年度よりつくばカピオ月曜休館日開館実施

（注 4）令和元年 10 月より消費税変更に伴う措置

（注 5）つくばセンタービル内つくば市施設の光熱水費負担割合見直しに対する措置

２）ノバホールの指定管理

ア　管理運営上の方針について

「地域の芸術文化の振興と住民福祉の増進を図り、もって文化水準の向上に寄与する」という設置目的に留意し、公の施設として市民に対して、公平・公正な利用機会を確保し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本方針とする。

本年度は新型コロナウイルスの感染が続く中、安全・安心な施設運営を図るため、施設の清掃・除菌・換気や職員の健康管理等を徹底して行った。あわせて、「ノバホール利用ガイドライン」を作成し、利用者への感染防止の周知に努めるとともに、音楽ホール特有の利用形態について留意事項を定め、注意喚起を促すなど、キメ細かい感染防止対策をとってきた。

また、日常及び定期的な施設点検を行い、必要に応じて迅速な修繕を実施するとともに、利用者アンケートを行なって管理運営面に反映させるなど、より一層のサービス向上に努めてきた。さらには、季節に応じた植栽を、エントランス、ホワイエを中心に配置して、施設環境の向上にも努めた。

当財団の文化芸術振興事業においては、部門間で十分に連携することで対面公演を円滑にすすめてきた（年度末実施）。今後、貸館業務においてもこのノウハウを活かして、コロナ禍での新たな管理運営に役立てていきたい。

イ　安全・安心面での取り組み

法定点検等の堅実な実施、緊急時に備えた訓練や職員の能力・資質の向上のための研修等を着実に行い、事業計画に掲げた「達成指標」をすべて満たす、安全・安心な利用環境の提供に努めた。なお、特に感染防止の取り組みについては、詳細を別紙 2 にまとめた。

【点検の取り組み】

＜法定・設備点検＞

① 設備定期点検整備･･･機械設備、受変電設備、分電盤点検を 12 回実施
② 電気工作物点検　･･･法定点検を 6 回、巡視点検を毎日実施
③ 汚水管清掃　　･･･1 回実施（12 月）
④ 舞台装置保守点検･･･4 回実施（6 月・9 月・12 月・3 月）
⑤ 音響装置保守点検･･･2 回実施（7 月・1 月）
⑥ 照明機器保守点検･･･2 回実施（7 月・1 月）
⑦ 消防設備点検　　･･･総合点検 1 回（8 月）、外観機能点検 1 回（2 月）実施
⑧ ピアノ点検　　･･･スタインウェイ（2 月）、ベーゼンドルファー（3 月）、ヤマハ（1 月）、ベヒシュタイン（3 月）各 1 回実施

＜巡視点検＞

① 巡視点検 ･･･事務職員により１日４回実施し、火気、不審者、不審物の早期発見に努めた、夜間においては、警備業務を委託し１日１回実施

② 設備保守運転業務･･･設備機器、電気工作物巡視点検を毎日実施

③ 舞台操作業務 ･･･毎日実施

④ 保安警備業務 ･･･毎日実施

⑤ 植栽管理業務 ･･･適宜実施

⑥ 建物点検 ･･･毎月実施

＜その他＞

① 日常清掃･･･休館日を除き毎日実施

② 定期清掃･･･カーペット清掃（9 月）、床ワックス（3 月）を実施

③ 空気環境測定･･･6 回実施（2 カ月に 1 回）

④ 害虫駆除･･･4 回実施（3 カ月に 1 回）

⑤ 感染症対策･･･日常的なマスク着用と手の消毒励行。アルコール消毒液、アクリル板、サーマルカメラ等を設置するとともに、チェックシートに基づき館内の消毒を実施して、感染対策に努めた

【緊急時の対応】

① 防火管理 ･･･自衛消防隊を組織するとともに消防計画を作成し、この計画をもとに消防訓練、防災訓練を実施（6 月・11 月）

② 緊急連絡網･･･職員連絡網を作成し、緊急時に対応

③ 事前打合せ･･･利用者との事前打合せを行い、非常時の避難経路の確認、役割分担や運営方法等について説明・協議し、安全確保に努めた

【人材育成や職員の研修等の取り組み】

① 定例会議･･･毎月実施し、催事情報や課題等の共有に努めた

② 公立文化施設協議会の研修･･･年 2 回（6 月、11 月）参加し、管理運営上の情報交換や知識の習得に努めた

③ 定期研修･･･コロナ禍のため受講を見送る

④ 設備取扱研修･･･スプリンクラー設備の復旧研修を実施し、設備の理解や緊急時の対応を確認した

ウ　サービス向上面での取り組み

【利用者アンケートの実施】

「達成指標」として、①「管理状況」、③「職員の対応」については前年以上、②「利用しやすさ」について 95%以上の「満足（やや満足含む）」を目標に設定し、3 項目とも「達成指標」以上の数値となった。アンケート結果、意見・要望の状況は次ページの表及び別紙 3 のとおりとなっている。

内容	達成指標	満足	普通	不満	無回答
① 管 理 状 況	前年度以上	98%(95)	1%(4)	0%(0)	1%(1)
② 利用しやすさ	95%以上	98%(92)	0%(6)	0%(1)	2%(1)
③ 職 員 の 対 応	前年度以上	98%(95)	0%(3)	0%(1)	2%(1)

※(　)は前年度実績、サンプル数：87 件（210 件）

※詳細は別紙 3「ノバホール アンケート調査結果」参照

【情報発信事業】

① ホームページ･･･財団ホームページで施設概要、利用規約・料金をはじめ、館内 3D 画像紹介や図面のダウンロード、さらには催事案内、予約状況等に関する情報を常時更新して提供した。また、「新型コロナウイルス感染防止対策とお願い」の掲載や、感染拡大に伴うイベントの中止や延期、臨時休館などの情報を逐一告知した

② 催事案内･･･ノバホール、つくばカピオで配布した

③ ポスター・チラシ･･･市内、近隣市町村のイベント関連ポスター・チラシを掲示して情報発信に努めた

【総合的なサービスの向上】

① 各種サービス･･･チケットの受託販売やコピー・FAX サービス、電子ピアノ・スタンド等館内備品の貸出等を行い、利便性の向上を図った

② 自主事業･･･バックステージツアー、ピアノ試弾会等の自主事業を計画するが、感染拡大防止のため中止した

③ その他･･･つくばセンター地区活性化協議会と共同で、つくばセンタービル（ホール入り口壁面）のイルミネーションを行った

エ　利用の状況について

【開館日数】

国、茨城県の緊急事態宣言の発出等に伴い、令和 2 年 4 月 4 日～5 月 31 日、令和 3 年 1 月 18 日～2 月 7 日の 2 度に渡り臨時休館とした。ただし、この期間中も窓口業務は行った。

① 通常開館･･･239 日

② 休館日　･･･ 58 日（月曜または月曜祝日時の翌日 52 日、年末年始 6 日）

③ 臨時休館･･･ 68 日（4 月 4 日～5 月 31 日、1 月 18 日～2 月 7 日を感染防止のため休館）※定期休館日を除く

【職員の配置】

感染防止の観点から、臨時休館時や施設の利用状況をみながら、職員のテレワークを実施した。以下①～③は通常時の職員配置とする。

① 事務管理職員･･･午前 8 時 30 分～午後 10 時、2 交代勤務で 5 名配置

② 舞台管理職員･･･午前 8 時 30 分～催事終了、2 名配置

③ 清掃職員･･･午前 7 時 30 分～午後 4 時 30 分、1 名配置

【予約申請の受付業務】

コロナ禍での自発的な予約キャンセルをはじめ、臨時休館を行ったことで多くの中止申請があり、利用実績も両施設共に前年度の半分以下の稼働率となった。

① 受付時間･･･午前 9 時～午後 8 時で実施

※臨時休館中は、感染防止対策として、午後 5 時までの時短営業

② 受付件数･･･新規申請　372 件(396)　変更申請　17 件(24)

附属申請　149 件(453)　中止申請　267 件(41)

※(　)は前年度実績

【利用状況】

施設	利用日数	利用可能日数	入場者数	稼働率
ホ　ー　ル	76 日 (222)	224 日 (279)	10,444 人 (88,181)	34% (80)
小 ホ ー ル	74 日 (183)	243 日 (301)	2,582 人 (14,007)	30% (61)
合　　計			13,026 人 (102,188)	

施設	利用区分数	利用可能区分数	稼働率
ホ　ー　ル	146 コマ (552)	671 コマ (828)	22% (67)
小 ホ ー ル	123 コマ (399)	729 コマ (901)	17% (44)

※(　)は前年度実績

※コマ…最小利用単位

【公益目的・目的外利用状況】

施設	区分	利用件数	入場者数
ホ　ー　ル	公益目的利用	40 件(134)	5,356 人(46,479)
	公益目的外利用	36 件(127)	5,088 人(41,702)
小ホール	公益目的利用	38 件 (98)	1,257 人 (4,014)
	公益目的外利用	37 件 (98)	1,145 人 (9,993)
合　　計	公益目的利用	78 件(232)	6,613 人(50,493)
	公益目的外利用	73 件(225)	6,233 人(51,695)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ホ　ー　ル	40 件(134)	5,356 人(46,479)
小　ホ　ー　ル	38 件 (98)	1,257 人 (4,014)
合　　計	78 件(232)	6,613 人(50,493)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用のうち減免利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ホ　ー　ル	4 件(24)	11,506 人(11,506)
小　ホ　ー　ル	3 件(12)	138 人 (376)
合　　計	7 件(36)	323 人(11,882)

※(　)は前年度実績

主な利用内容

・つくば市民文化祭動画撮影

・つくば市成人の集い動画撮影　など

【公益目的外利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ホ　ー　ル	36 件(127)	41,702 人(41,702)
小　ホ　ー　ル	37 件 (98)	1,145 人 (9,993)
合　　計	73 件(225)	6,233 人(51,695)

※(　)は前年度実績

主な利用内容

・民間企業株主総会

・民間企業「ピアノ＆ヴァイオリン　デュオコンサート」など

３）つくばカピオの指定管理

ア　管理運営上の方針について

「文化・スポーツ活動等を通して交流の場を提供し、豊かな市民生活の形成に寄与する」という設置目的を尊重し、公の施設として市民に対して、公平・公正な利用機会を提供し、指定管理業務を適正に運用していくことを基本方針とする。

本年度は新型コロナウイルスの感染が続く中、ノバホール同様、安全・安心な施設運営を図るため、施設の清掃・除菌・換気や職員の健康管理等を徹底して行った。あわせて、「つくばカピオ利用ガイドライン」を作成し、利用者への感染防止の周知に努めるとともに、アリーナやホール、会議室等、各施設に応じた留意事項を定めて注意喚起を促すなど、キメ細かい感染防止対策をとってきた。

また、日常及び定期的な施設点検を行い、必要に応じて迅速な修繕を実施するとともに、利用者アンケートを行なって管理運営面に反映させるなど、より一層のサービス向上に努めてきた。

当財団の文化芸術振興事業においては、部門間で十分に連携することで、対面公演を円滑にすすめてきた（年度末実施）。今後、貸館業務においてもこのノウハウを活かし、コロナ禍での新たな管理運営に役立てていきたい。

イ　安全・安心面での取り組み

法定点検等の的確な実施、緊急時に備えた訓練や職員の能力・資質の向上のための研修等を実施し、事業計画に掲げた「達成指標」をすべて満たし、安全・安心な利用環境の提供に努めた。なお、特に感染防止の取り組みについては、詳細を別紙４にまとめた。

【点検の取組み】

＜法定・設備点検＞

① 弱電設備･･･セントラル監視システム、ローカル監視システムを１回（8 月）実施
② 消防設備･･･総合点検１回（8 月）、外観点検１回（1 月）実施
③ 空調機器･･･空調機、吸収式冷凍機、冷却塔、ポンプ類、熱源設備を実施
（4 月・7 月・8 月・10 月・1 月・3 月）
④ 受変電設備点検･･･6 回実施（遠隔監視により毎日実施）
⑤ 受変電設備清掃･･･1 回実施（6 月）
⑥ 給排水衛生設備･･･飲料水全項目水質分析、簡易水道水質検査を１回実施（8 月）
残留塩素測定を月１回実施、受水槽清掃を１回（6 月）、雑排水清掃を２回（9 月・2 月）実施
⑦ 自動ドア　　･･･2 回実施（8 月・2 月）
⑧ エレベーター点検…毎月実施
⑨ 可動ステージ　･･･1 回実施（12 月）
⑩ 音響設備点検　･･･2 回実施（9 月・2 月）

⑪　照明設備点検　･･･2 回実施（6 月・1 月）
⑫　舞台設備点検　･･･4 回実施（5 月・8 月・11 月・2 月）
⑬　ピアノ点検　　･･･1 回実施（12 月）
⑭　電動ルーバー点検　　･･･1 回実施（5 月）
⑮　オペラウォール点検　　･･･1 回実施（7 月）
⑯　ロールスクリーン点検　･･･1 回実施（7 月）
⑰　バスケットゴール点検　･･･1 回実施（12 月）
⑱　監視カメラ点検　　･･･1 回実施（4 月）
⑲　放送設備点検　　･･･1 回実施（4 月）
⑳　自家発電機点検　　･･･1 回実施（6 月）

＜巡視点検等＞

①　巡視点検　･･･1 日に 4 回実施し、火気、不審者、不審物の早期発見に努めた
②　設備保守運転業務　･･･毎日実施
③　舞台操作業務　　･･･毎日実施
④　機械警備業務　　･･･毎日実施
⑤　植栽管理業務　　･･･適宜実施
⑥　建物点検　　･･･毎月実施

＜その他＞

①　日常清掃･･･毎日実施
②　定期清掃･･･ガラス（4 月・5 月）、カーペット（5 月）、自然石（5 月）、塩ビ系フロア（12 月）、フローリング（12 月・2 月）、ブラインド（12 月）を実施
③　空気環境測定･･･6 回実施（2 カ月に 1 回）
④　害虫駆除　　･･･6 回実施（2 カ月に 1 回）
⑤　感染症対策　･･･日常的なマスク着用と手の消毒を励行。利用後の室内換気と消毒、消毒液の各所設置、感染症対策のポスターの掲示、サーマルカメラによる入館時の体温測定、利用者名簿の提出などの対策を行った

【緊急時の対応】

①　防火管理　　･･･自衛消防隊を組織するとともに消防計画を作成し、この計画をもとに消防訓練を実施（8 月・1 月）
②　緊急連絡網　･･･職員連絡網とセコム連絡網を作成し、緊急時に対応した
③　事前打合せ　･･･利用者との事前打合せを行い、非常時の避難経路の確認、 役割分担や運営方法について説明・協議し、安全面の確保に努めた。また、新型コロナウイルス対策について説明、相談を行い、利用時の感染防止に取り組んだ

【人材育成や職員の研修等の取り組み】

① 定例会議･･･毎月実施し、催事情報や課題等の共有に努めた

② 公立文化施設協議会の研修･･･年 2 回（6 月、11 月）参加し、管理運営上の情報交換や知識の習得に努めた

③ 救命講習･･･コロナ禍のため実施せず

④ 設備取扱研修･･･設備の理解を深め、利用者サービスの向上に努めた

ウ　サービス向上面での取り組み

【利用者アンケートの実施】

「達成指標」として、①「管理状況」、③「職員の対応」については前年以上、②「利用しやすさ」については 90%以上の「満足（やや満足含む）」を目標に設定し、3 項目とも「達成指標」以上の数値となった。アンケート結果、意見・要望の状況は下記の表及び別紙のとおりとなっている。

内容	達成指標	満足	普通	不満	無回答
① 管 理 状 況	前年度以上	95%(91)	4% (9)	0%(0)	1%(0)
② 利用しやすさ	90%以上	93%(89)	5%(10)	1%(1)	1%(0)
③ 職 員 の 対 応	前年度以上	94%(91)	5% (8)	0%(1)	1%(0)

※(　)は前年度実績，サンプル数：688 件（232）

※詳細は別紙 5「つくばカピオアンケート調査結果」参照

【情報発信事業】

① ホームページ･･･財団ホームページで施設概要、利用規約・料金をはじめ、図面のダウンロード、催事案内や予約状況等に関する情報を常時更新して提供した。また、「新型コロナウイルス感染防止対策とお願い」の掲載や、感染拡大に伴うイベントの中止や延期、臨時休館などの情報を逐一告知した

② 催事案内･･･ノバホール、つくばカピオで配布した

③ ポスター・チラシ･･･市内、近隣市町村のイベント関連ポスター・チラシを掲示して情報発信に努めた

【総合的なサービスの向上】

① 各種サービス･･･チケットの受託販売やコピー・FAX サービス、プロジェクター・消毒液・車椅子・スタンド等の館内備品の貸出等を行い、利便性の向上に努めた

② 自主事業･･･例年、バックステージツアー等の自主事業を行ってきたが、感染拡大防止のため中止とした

③ その他･･･「アダプト・ア・パーク」に参加し，大清水公園ほか周辺の美化に努めた。また、年末参加する「つくばランタンアート」については、準備をしてきたが、最終的に中止となった

エ　利用の状況について

【開館日数】

国、茨城県の緊急事態宣言の発出等に伴い、令和 2 年 4 月 4 日～5 月 31 日、令和 3 年 1 月 18 日～2 月 7 日の 2 回に渡り臨時休館とした。ただし、この期間中も窓口業務は行った。

① 通常開館･･･277 日

② 休館日　･･･　9 日（保守点検等による休館 3 日、年末年始 6 日）

③ 臨時休館･･･ 79 日（4 月 4 日～5 月 31 日、1 月 18 日～2 月 7 日を感染防止のため休館）

【職員の配置】

感染症防止の観点から、臨時休館時をはじめ施設の利用状況をみながら、職員のテレワークを実施した。以下①～④は通常時の職員配置とする。

① 事務管理職員･･･午前 8 時 30 分～午後 10 時、2 交代勤務で 6 名配置

② 舞台管理職員･･･午前 8 時 30 分～催事終了、2 名配置

③ 設備管理職員･･･午前 8 時～午後 10 時、2 交代勤務で 4 名配置

④ 清掃職員　　･･･午前 8 時～午後 5 時、2 名配置

【予約申請の受付業務】

コロナ禍での自発的な予約キャンセルをはじめ、臨時休館を行ったことで多くの中止申請があり、施設別の稼働率もすべて前年度の数字を下回った。

① 受付時間･･･午前 9 時～午後 8 時で受付業務を実施した。

② 受付件数･･･新規申請 2,203 件(2,272)　変更申請　316 件（363）
附属申請　577 件　(741)　中止申請　934 件（176）
※（　）は前年度実績
※4 月 10 日～5 月 31 日の臨時休館中は、午後 5 時までの時短営業を行った

【備品の維持管理】

① 日常確認･･･建物及び備品の現状確認を巡視点検の際に実施

② 定期確認･･･建物備品、貸出備品の数量確認とメンテナンスを実施

③ 修繕　　･･･建物、設備の修繕を実施

【利用状況】

施設	利用日数	利用可能日数	入場者数	稼働率
アリーナ	263日 (345)	265日 (345)	25,888人 (112,848)	99% (100)
ホール	97日 (230)	260日 (319)	7,048人 (40,698)	37% (72)
上記以外9施設 ＜日数は平均＞	227日 (334)	274日 (355)	19,178人 (46,483)	83% (94)
合計			52,114人 (200,029)	

施設	利用区分数	利用可能区分数	稼働率
アリーナ	1,257コマ (1,789)	1,575コマ (2,033)	80% (88)
ホール	240コマ (564)	794コマ (904)	30% (62)
上記以外9施設 ＜合計＞	16,339コマ (33,867)	42,106コマ (54,289)	39% (62)

※(　)は前年度実績

※コマ…最小利用単位

【公益目的・目的外利用状況】

施設	区分	利用件数	入場者数
アリーナ	公益目的利用	351件　(447)	9,729人 (71,790)
	公益目的外利用	291件　(313)	16,159人 (41,088)
ホール	公益目的利用	40件　(135)	1,494人 (24,125)
	公益目的外利用	63件　(111)	5,554人 (16,573)
上記以外9施設	公益目的利用	1,026件(1,783)	5,461人 (18,153)
	公益目的外利用	1,845件(3,145)	13,717人 (28,359)
合計	公益目的利用	1,417件(2,365)	16,684人(114,068)
	公益目的外利用	2,199件(3,569)	35,430人 (86,020)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ア　リ　ー　ナ	351 人　(447)	9,729 人(71,790)
ホ　ー　ル	40 件　(135)	1,494 人(24,125)
上記以外９施設	1,026 件(1,783)	5,461 人(18,153)
合　計	1,417 件(2,365)	16,684 人(114,068)

※(　)は前年度実績

【公益目的利用のうち減免利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ア　リ　ー　ナ	15 件 (66)	1,105 人(55,845)
ホ　ー　ル	11 件 (74)	347 人 (14,409)
上記以外９施設	91 件(534)	553 人 (9,662)
合　計	117 件(674)	2,008 人(79,916)

※(　)は前年度実績

<u>主な利用内容</u>

・つくば市中学校体育大会（バドミントン）
・文化財課講演会「自然と人をつなぐ筑波山地域の石」
・科学の甲子園全国大会　等

【公益目的外利用の状況】

施設	利用件数	入場者数
ア　リ　ー　ナ	291 件(313)	16,159 人(41,088)
ホ　ー　ル	63 件(111)	5,554 人(16,573)
上記以外９施設	1,845 件(3,145)	13,717 人(28,359)
合　計	2,199 件(3,569)	35,430 人(86,020)

※(　)は前年度実績

<u>主な利用内容</u>

・沖縄民謡コンサート有料公演
・プロボクシング、プロキックボクシング
・プロバレーボール、プロバスケットボール
・ダンスコンテスト　等

（３）地域連携

【会員及び関係団体等一覧表】

No.	団体名	役職等
1	つくばセンター地区活性化協議会	会員
2	アダプト・ア・パーク（つくば市公園里親制度）	参加団体
3	筑波研究学園都市交流協議会	会員
4	（一社）つくば観光コンベンション協会	会員
5	つくばフェスティバル実行委員会	委員
6	まつりつくば大会本部	委員
7	つくば市民文化祭実行委員会	委員
8	つくば市商工会	会員
9	（公社）土浦法人会	会員

【活動内容】

ア　つくばセンター地区活性化協議会が実施する奉仕活動・イベントへの参加

① 防犯パトロールへの参加（毎週水曜日に会員 13 社による当番制）

② 「ランタンアート 2020」→ 開催に向け準備するもコロナ禍のため中止

イ　アダプト・ア・パークへの参加

毎月、大清水公園の清掃及び遊具点検等（併せてペデストリアンデッキのゴミ拾い）を実施する。